

製品名: ラバプチン-5 β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16810**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	RABEP2
別名	RABEP2; RABPT5B; Rab GTPase-binding effector protein 2; Rabaptin-5beta
遺伝子 ID	79874.0
SwissProt ID	Q9H5N1
免疫原	抗血清はヒト RABEP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 353-402

背景

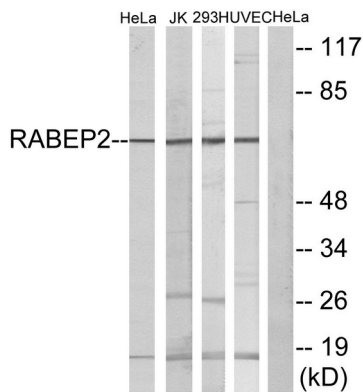
機能: 膜輸送およびホモ型初期エンドソーム融合において役割を果たす。類似性: ラバプチンファミリーに属する。サブユニット: RABGEF1 とのヘテロ二量体。この二量体は、GTP 結合によって活性化された RAB5A に結合する。機能: 膜輸送およびホモ型初期工

エンドソーム融合において役割を果たす。類似性: ラバプチンファミリーに属する。サブユニット: RABGEF1 とのヘテロ二量体。この二量体は、GTP 結合によって活性化された RAB5A に結合する。

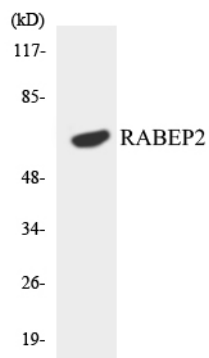
研究分野

-

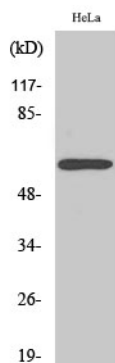
画像データ



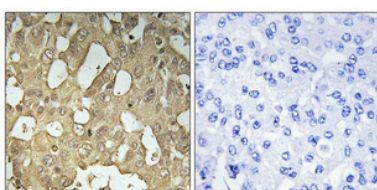
RABEP2 抗体を用いた HeLa 細胞、Jurkat 細胞、293 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RABEP2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ラバプチン-5β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。

